

## 令和6年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

### 第2回入退院時連携推進部会を開催しました



○9月3日(火)に、第2回入退院時連携推進部会を対面で開催しました。参加者は、部会メンバー8人、事務局2人、上越地域在宅医療推進センター1人でした。

○まず始めに、7月24日に開催された「上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会(以下:協議会)」の内容について事務局から報告を行いました。その後、協議会で出された意見を踏まえ、入退院時連携推進部会における今期の取組方針の確認と令和6年度の取組に向けた意見交換を行いました。

#### 【3年間の取組方針の確認】

○令和5年度に実施した「ケアマネジャーとかかりつけ医との連携に関するアンケート調査」の結果について多職種と共有する。

○すでにあるシステムを周知する。  
・今まで本協議会の活動の中で作成してきた『ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン』、『入退院時の連携フロー』、『ケアマネジャーと診療所の連携ヒント』等を周知する。

○“医療側・介護側で課題を共有し、解決に向けて話し合う場”を増やす。(相互に学び合い交流することで、相談のできる関係ができる、円滑な入退院支援にもつながる。)

#### 【取組に向けた意見交換】

○各委員から職能団体や職場における研修会等について意見交換する。

・委員が所属する職能団体や職場で、今年度どのような研修会が開催されるか情報交換し、部会と共同できるものはないか協議する。

・今後の研修会等について、医師会では在宅療養支援機能スキルアップ懇談会の開催、歯科医師会では多職種連携協議会の開催予定あり。訪問看護ステーション協議会では10月11日にケアマネジャー・訪問看護合同研修で、「質の高い地域連携について」講演とグループワークを予定しており、部会からも参加できると良い。

○意見交換の場を定期的を開催するにはどうしたらよいか話し合う。

・系統的に毎年「会」を設け、そこでニーズを抽出してテーマにするとよい。その時のトピックスで学びになるものがあるとよい。

・上越市は大きい地区を分けて行い、研修の中でグループワークを設けるとよい。また、職種により参加しやすい時間帯(日中・夕方からの勤務終了後等)があると思う。

・入院前からの関わりが必要になる際、多職種と意見交換できる場があるとよい。

#### 【今後の取組内容】

○「ケアマネジャーとかかりつけ医との連携に関するアンケート調査」の結果について、ただ伝えるだけではなく、自分の職種なら何ができるかというメッセージも含めて伝えられるよう、具体的な周知方法を部会で検討する。

※次回:令和7年1月頃に予定